

一般質問通告一覧表（第6回定例会）

平成24年9月11日招集

1. 道道1008号夕張長沼線の早期完成を	栗山の経済活性化として提案したいのが道路の開発で、現在工事が中断している不動の滝から夕張清水沢へ抜ける道道1008号夕張長沼線約7キロメートル区間の早期着工です。清水沢、南部、沼ノ沢、紅葉山地区を合わせますと人口約7,300人となり夕張の人口の7割を占めます。平成27年度には夕張シューパロダムが完成予定で、全国では湛水面積第2位、貯水容量第4位となり巨大なダム湖が誕生し、観光地としても期待されます。それに伴い、ダム横の国道452号は補修整備工事も進んでいます。また、清水沢から道東自動車道インター入口がある紅葉山までも近く、道道1008号夕張長沼線が開通すると、清水沢から栗山までの近距離道路として買物客や通院者など、より多くの経済的効果が見込まれます。さらに栗山以北からは道東自動車道インター入口が近くなり、国道452号を通る富良野方面への観光ルートにも役立つものと思われる。そこで道道1008号夕張長沼線の工事が中断している理由と、早期完成に向けて道に強く働きかけていただきたく町の考えを伺います。	
2. 今後の広域連携の枠組は	昨今、各市町村における諸問題について個々の町村では解決できない難題が数多く存在しています。それらのトータルな解決策として考えられるのが、新たな広域連携によって生まれるメリットや省力化であり、このことが今後の経済の活性化と地域大合併への進む道と考えます。今までの南空知4町広域連携に向けた計画に夕張市が加わることにより、本町が1市4町の中心に位置することで今後の連携プロジェクトを立案する上でも重要な要素になると思います。今後、夕張市との経済的連携について町長の考えと、南空知4町との広域連携進展状況について伺います。	3 番 大 井 賢 治

1. 社会福祉法人に対する水道料金の軽減措置を	本年4月から水道料金が改定され、最低計量水量や増加栓料金を廃止して、口径、用途にかかわらず1立方メートルあたり一律252円となりました。平成24年度は緩和措置期間料金で、平成25年度から改定料金が適用されます。料金値上げの改定ではないとしながら使用水量に比例した料金設定により、結果として一般家庭の13ミリ口径の場合、45.6%が負担減、54.4%が負担増です。昨年、付託された産業福祉常任委員会でも、大口利用者に対する配慮が必要だとの質疑に対して、「助成制度については、水道での助成にはなりませんが、福祉目的の制度は福祉サイドで考えていくのではという話しを（訪問した福祉施設などの大口利用者に）しております」という答弁でした。私の想定したとおり、老人福祉施設を運営している町内の3社会福祉法人から、減免措置を講じてほしい旨の「要望書」が提出されました。旭川市のように福祉政策としての助成をしている例があります。要望に沿う形での社会福祉法人に対して政策的配慮が必要と考えますが、町長の見解を伺います。	
2. 精神障がい者にも運賃割引の適用を	7月31日、国土交通省が「標準運送約款」を改正し、精神障がい者のバス運賃割引制度を加えたことは、当事者団体などから、運動の第一歩と喜びの声が寄せられています。しかし、バス事業者には割引制度の実施を義務化するものではないため、道内では12社が独自に実施していますが、最大手の中央バスなど28事業者が未実施です。身体障がい者と知的障がい者は、JRや民間鉄道、飛行機なども運賃割引の対象です。本町には精神障がいによる通院者は約180名おり、精神障がい者が地域で自立した生活を送るためには、定期的な受診が必要です。また、社会復帰を目指して作業所やデイケアに通うことも必要です。精神障がい者の交通権を保障するため、バス事業者への働きかけや、JRなど他の交通機関に対する運賃割引制度の実施を国に求めようかと伺います。	12番 重山雅世

1. エゾシカ食肉加工施設の管理運営状況は	平成22年12月定例会において、栗山町第5次総合計画基本構想の追加及び基本計画の改訂が提案され、産業～元気で活力あるふるさとづくりの中の基本計画として、エゾシカ農業被害緊急対策事業が登載されました。 また、平成23年3月定例会では、エゾシカ侵入防護柵の設置とエゾシカ食肉加工施設の建設を含む当初予算を可決しました。 本年2月に完成した「エゾシカ食肉加工場」については、3月から運営を開始して稼働しましたが、間もなく操業を停止、開店休業中の状況になっています。 町は施設を業者に貸し付け、管理運営をさせることを決定しましたが、施設の貸し付けに当たっての業者選定は、地方自治法による議決事件に該当しないとはいえ、施設の建設を容認した議会の責任は重いと考えられます。 執行機関を公正に眺め、厳正に批判し、適正で公平妥当を見出すことが議事機関である上で、以下の点について伺います。 ① 平成22年12月定例会に提案され、平成23年度に予算化し建設したエゾシカ食肉加工施設について、操業が停止、開店休業中の状態となった経過と経緯について。 ② 業者の選定については、多岐にわたる調査及び検証を行い、十分把握した上で決定したと思いますが、その内容について。	2 番 友 成 克 司
------------------------------	---	------------------------